

MI・RA・Is

2023/秋号 Vol.25

ユーザーフォーラム通信

特集 第18回 MI・RA・Isユーザーフォーラム大会



高橋 肇 先生

社会医療法人 高橋病院

■基調講演

座長
社会医療法人 高橋病院 理事長 高橋 肇 様

『地域における医療Dx ～広域にわたる全体最適化への取組～』
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構
理事長
島貫 隆夫 様

■テーマ別研究会

社会医療法人 祐愛会 織田病院 情報管理室 システムマネージャー
森川 伸一 様
社会医療法人 祐愛会 織田病院 看護師・医療安全管理部 副部長
重松 かおり 様

■事例発表

座長
一般財団法人 精神医学研究所 附属 東京武蔵野病院 情報管理室 係長
加藤 丈典 様
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
管理課 情報システム係 係長
齊藤 壘 様

『コロナ病床稼働、院内クラスタを経て羽化する院内発DX
～発熱検知、接種管理、接触追跡、流行把握の実装～』
特定医療法人 谷田会 谷田病院 事務部 IT担当主任
那須 照広 様

『医療DXにおけるPHRの積極的導入』
白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院 副企業長
横山 邦彦 様

『ID-Linkを活用した「はこだて医療・介護連携サマリー」のご紹介』
社会医療法人 高橋病院 法人情報システム室 室長
滝沢 礼子 様

『データ活用とセキュリティ対策の一例』
社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院 事務局長
加藤 彰裕 様

『法人内におけるIT人材育成の取り組み』
社会医療法人 宏潤会 大同病院
医療統括本部 医療情報部 DMIT管理部 管理部長
荒川 千奈美 様

テーマ「医療DX」

コロナも第5類へと移行され、徐々に日常の日々を取り戻しつつありますが、皆様からのお声も踏まえ昨年同様、リアル会場とオンラインのハイブリッド開催としました。

今年は、会場を新橋にある「第一ホテル東京」から、モダンホスピタルショウが開催されている、有明エリアへと変更、また、約3年ぶりに懇親会も復活し、良い意見交流の場ともなりました。

島貫 隆夫 様
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 理事長

略歴

1980年5月 山形大学医学部卒後 同付属病院 研修医
 1983年5月 南カルフオルニア大学医学部留学
 1988年12月 山形大学医学部付属病院 助手
 1993年4月 山形県立日本海病院心臓血管外科医長
 2003年3月 山形大学医学部第二外科 助教授
 2004年7月 山形県立日本海病院 副院長
 2008年4月 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 副院長
 2014年4月 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 院長代理
 2016年4月 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 院長
 2023年4月 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 理事長



「2040年 人事交流、

医療DXを通して地域全体の最適化を目指す」

プラットホーム構築の第一人者である、地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 島貫隆夫先生に「地域における医療DX」の広域にわたる全体最適化への「取組」について講演していただきました。

「病院の統合と再編」

県立総合病院から2km離れたところに市立酒田病院がありました。ほとんどの診療科が日本海総合病院と重複していたため、赴任時より将来的な不安がありました。結果的には二病院が統合・再編する運びとなりました。

誕生の背景には、「市立酒田病院の老朽化」「日本海病院の経営状況」「北庄内地域に三次救急がない」「医師不足」「効率的な税金の使い方」等の様々な問題がありました。

公立病院改革の三つの視点①経営効率化②再編・ネットワーク化③経営形態の見直しを含む形で平成二十年四月に新法人が誕生しました。

現在は日本海総合病院が急性期型、日本海酒田リハ病院が慢性期型として運営しており、さらに二〇一八年には八幡病院を無床化し、八幡クリニックとして当法人に再編入しています。この時に六つの診療所を再編入しました。病院からクリニックに再編するにあたり、外来機能を充実させることに取り組んでおります。

約十五年間で三八九床減らしましたが、その結果、日本海総合病院の病床稼働率は八十%を割る結果となりました。このような点から私達の予想を上回るスピードで人口減少、新規入院患者の減少が起こっているといえます。

「オンライン資格確認による効果」

国が進める医療DXとして一番大事なのがオンライン資格確認だと思っています。電子処方箋の基盤にもなっています。これらが構築されるおかげで様々な医療DXが進んでいくのではと期待しています。オンライン資格確認による効果としては、次の四点となります。

- ①窓口業務の効率化
 - ・ 保険証裏面の確認が不要になる。
- ②患者・家族の負担軽減
 - ・ 限度額適用認定書の申請などがオンライン資格で照会可能
- ③確実な本人確認
 - ・ 高精度な顔認証により、保険証の不正利用防止につながる。
- ④特定健診情報や薬剤情報参照
 - ・ 初診時や入院時の情報収集に活用できる。

「電子処方箋から始まる医療DX」

昨年の一〇月三一日からモデル地区として、山形・福島・千葉・広島の四県でスタートしました。

電子処方箋に積極的に取り組んでいますが、その理由として当地区では四年前より併用禁忌・重複チェック・常用薬の把握のため便利になるのではという観点から、調剤情報共有システムを導入しております。しかし、調剤後ということもあり利用が中々進みませんでした。ただ、データの二次利用をおこなったところ、重複投与が約一〇%前後(約四七〇〇件)、相互作用(併用禁忌)が〇.四%(約一四〇〇件)という結果でした。これらを改善しなければならなかった時、調剤する間にチェックをかけることが必要であり、そこには電子処方箋が有効と考えたため、電子処方箋事業に積極的に取り組んでおります。

電子処方箋の運用を開始し様々な問題がありますが、一番は患者も医療従事者も電子処方箋の意義を十分に理解していないといえます。また、過度的な期間をできるだけ短くするために、地域全体による面での取り組みが必要といえます。

今後、全国医療プラットホームや電子カルテの標準化が進んでいきますが、電子処方箋事業を国として早く推奨してほしいと考えます。

★電子処方箋では、
面での対応、短期決戦が重要

5医療機関からの事例発表

今大会のテーマでもある医療DXに関する内容から、医療セキュリティ、IT人材教育のお話しと様々なテーマで5つの医療機関より事例発表をしていただきました。

ユーザーフォーラム通信では、テーマのみ紹介させていただきます。

詳しい内容や発表動画は期間限定でMI・RA・Isユーザーフォーラムサイトに記載しております！！

座長のご紹介



加藤 丈典 様

一般財団法人 精神医学研究所
付属 東京武蔵野病院



齊藤 壘 様

地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構
日本海総合病院

CASE STUDY

「院内開発！～新機能の参考事例へ～」



院内開発をおこなった、「発熱検知」「接触管理」「接触追跡」「流行把握」のシステムについて発表をおこなっていただきました。

特定医療法人谷田会
谷田病院
事務部 IT担当主任 那須 照広 様

CASE STUDY

「医療DXにおけるPHRの積極的導入」



公立松任中央病院様での医療DXの取り組みや事例を用いて発表していただきました。

白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院
副企業長
横山 邦彦 様

CASE STUDY

「函館方式」



「はこだて医療・介護連携サマリー」をプラットフォームとして「ID-Link」を活用する『函館方式』について発表していただきました。

社会医療法人 高橋病院
法人情報システム室 室長
滝沢 礼子 様

CASE STUDY

「サイバー攻撃対策」



サイバー攻撃対策について犬山中央病院様にて実際に行っている対策を交えご説明していただきました。

社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院
事務局長
加藤 彰裕 様

CASE STUDY

「IT人材育成の取り組み」



法人内におけるIT人材育成について、現在大同病院様にて取り組まれている内容を交え、ご説明していただきました。

社会医療法人 宏潤会 大同病院
医療統括本部 医療情報部 DMIT管理部 管理部長
荒川 千奈美 様

事例発表ありがとうございました。

来場・視聴されたみなさまからは、

- ・自院で部署問わず展開したい
- ・同じような課題を抱えているのだと感じた

など様々な意見がございました。

講演動画はユーザーフォーラムサイトに公開しておりますので、ぜひ登録の上、ご視聴ください！！！！



社会医療法人 祐愛会 織田病院
情報管理室 マネージャー
森川 伸一 様

社会医療法人 祐愛会 織田病院
看護師・医療安全管理部 副部長
重松 かおり 様

テーマ別研究会

MI・RA・Is スマホ対応アプリ開発

～看護師の目線から～

現在の対応範囲は、「患者情報」「診療記録」「病名」「検査結果」「薬歴照会」「経過一覧」「オーダー参照」「メモ機能」の八機能となります。
将来的には「ナースコールとの連携」や「診療記録の効率化」として、褥瘡の写真撮影・取り込み、音声入力等ができればいいなと思っております。

MI・RA・Isスマートフォン開発は「ベッドサイドでの入力、患者情報の閲覧をスタッフ全員ができること」を目的に二〇二三年一月よりプロジェクトが開始されました。

社会医療法人 祐愛会 織田病院様では、株式会社シーエスアイと共にスマホ対応アプリの開発を行っております。今回は、スマホ対応アプリの開発経緯等について発表していただきました。

詳しく説明されている動画の視聴はユーザーフォーラムサイトへ！！

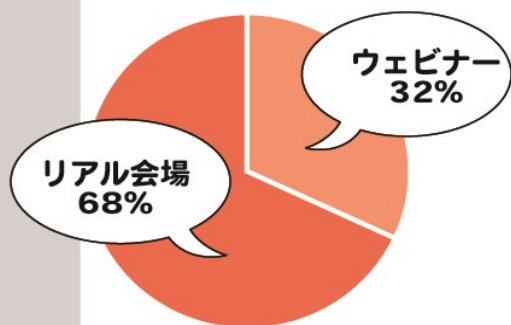
<https://mirais.csiinc.co.jp/>

Check!



第18回
MI・RA・Is
ユーザーフォーラム大会
アンケート結果！

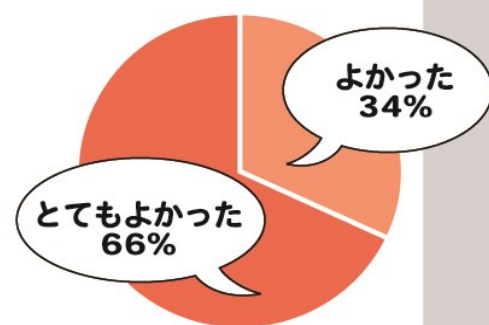
今回のアンケート結果を踏まえ、次回、第19回 MI・RA・Is ユーザーフォーラム大会に活かせるよう検討して参ります。
なお日程および開催概要につきましては、確定次第ご連絡致します。



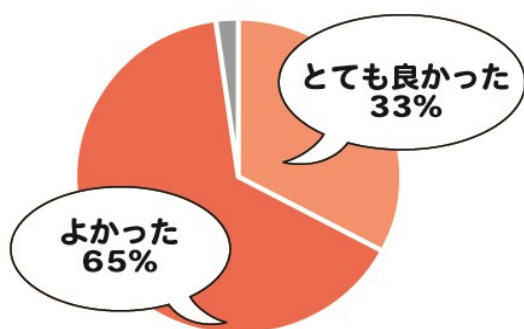
参加場所について



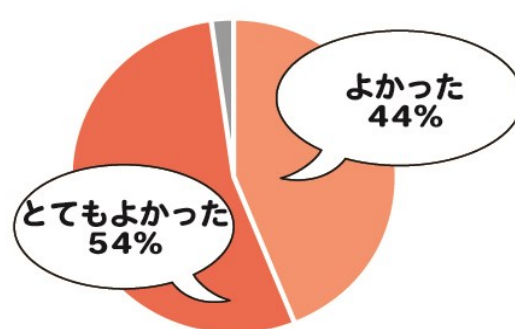
有明会場について



基調講演について



テーマ別報告について



事例発表について

みなさまの声

- ・自分が考えていたことを実施しているところが、実際にあるんだと驚きました。そして、不可能ではないんだと勇気づけられました。
- ・様々な医療 DX の事例の発表を聞かせていただき、大変勉強になりました。改革を推し進めていこうとされる先生方がとても輝かしく、私ももっと邁進していきたいと思いました。
- ・初めてのフォーラム参加でしたが、他の病院の課題を聞くことができ良かったです。

編集後記

コロナも第5類へと移行され、世間的にも様々な規制が緩和されました。ユーザーフォーラム大会としても約3年ぶりに懇親会が復活しました。

2022年6月に、事務局が在籍しております社屋が移転し約1年となりました。事務局一同変わらぬ気持ちで取り組んで参ります。

MI・RA・Is ユーザーフォーラム事務局

MI・RA・Is
ユーザーフォーラム事務局

株式会社シーエスアイ 事業推進本部

TEL : 03-5944-6120
FAX : 03-5944-6122
E-mail : csi-jisui@csiinc.co.jp
<https://mirais.csiinc.co.jp/>

ユーザーフォーラム
サイトはこちらから

